

11月末の人口  
 世帯数 628  
 男 829 人  
 女 817 人  
 計 1,646 人  
 (馬路 1,125 人)  
 (魚梁瀬 521 人)

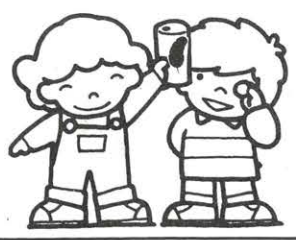

**広報**  
**うまご**

昭和59年12月15日発行  
 第一〇号  
 編集 馬路村教育委員会  
 発行 安芸印刷  
 印刷 安芸印刷



↑ 11月20日 馬路熊野神社秋祭

**みんなそろって** **歳末たすけあい運動12月 1日～31日**  
**明るいお正月を迎えるために**



歳末たすけあい運動によって集められた善意の寄付金は、地域の恵まれない人々や社会福祉施設を利用されている方々が、明るく楽しいお正月を迎えられるよう、社

会福祉協議会などを通じて、有効に活用されています。「みんなそろって明るいお正月」を迎えるため、多くの方のご協力をお願いします。

# 今月のイベント

## 10月

- 5日 村内体力づくり大会(馬路体育館ほか)  
スカッシュバレーボール・ゲートボール
- 7日 馬路小学校・保育運動会
- 〃 魚梁瀬小学校・中学校運動会
- 〃 安芸郡市スカッシュバレーボール大会(田野町)
- 8日 魚梁瀬公民館運営審議会(魚梁瀬公民館)
- 13日 魚梁瀬地区はし拳大会(魚梁瀬公民館)
- 15日 魚梁瀬熊野神社秋祭
- 〃 行政相談所開設(就改センター)
- 19日 中芸地区中学校陸上大会(馬路村民運動場)
- 21日 馬路地区村民運動会(馬路村民運動場)
- 〃 魚梁瀬地区村民運動会(魚梁瀬運動場)
- 23日 臨時村議会
- 〃 村内小学校陸上交歓会(馬路村民運動場)
- 24日 ゲートボール安芸地区予選(田野町)
- 26日 安芸郡市中学校陸上大会(芸西村)
- 29日 高知馬路会(高知市)

## 11月

- 5日 魚梁瀬地区慰霊祭
- 〃 こいの放流 75kg(西川)
- 6日 成人病検診(馬路)
- 7日 成人病検診・乳児検診(魚梁瀬)
- 8日 馬路地区慰霊祭
- 11日 馬路村文化祭(魚梁瀬体育館ほか)
- 〃 安芸郡市バレーボール選手権大会(芸西村)
- 13日 青柳常夫ふれあいコンサート(就改センター)
- 15日 道德指定研究発表会(魚梁瀬体育館ほか)
- 16~17日 安芸郡市中学校新人野球大会(安芸市)
- 17日 子どもみこし作り(へき地集会所)
- 18日 安芸郡市町村対抗軟式野球大会(安芸市)
- 19日 馬路地区はし拳大会(就改センター)
- 20日 馬路熊野神社秋祭
- 〃 馬路相撲大会(馬路相撲場)
- 23日 第2回馬路村内長距離走記録会(虹のマラソンコース)
- 〃 青少年育成馬路村民会議南国市文化財めぐり(南国市)
- 25日 昭和59年度九人制一般男女バレーボール安芸支部大会(田野町)
- 〃 第24回室戸マラソン大会(室戸市)
- 27日 臨時村議会

## 12月

- 1日 第5回村内芸能発表会(就改センター)
- 4日 文芸講演会(魚梁瀬公民館)
- 6日 青少年育成会議運営委員会(就改センター)
- 7日 新入児検診(馬路小学校)
- 〃 民生委員馬路支部研修会(コミセン)
- 9日 第10回安芸タートルマラソン(安芸市)
- 12日 第7回馬路村内ゲートボール大会(馬路ゲートボール場)
- 13日 新入児検診(魚梁瀬小学校)

→ 10月15日 魚梁瀬神祭



→ 10月21日 魚梁瀬地区村民運動会



→ 子どもみこし作り(馬路)



↑ 11月11日 寒蘭展



→ 12月1日 村内芸能発表会





# 道徳教育 研究発表会

## 魚梁瀬で開催

去る十一月十五日、「文部省地域指定道徳教育研究発表会」が、魚梁瀬小中学校を会場にして行われました。

当日は、あいにくの雨でしたが、午前中は百八十人が参加、午後からは魚梁瀬の父兄の方々も五十人

ほど参加され、体育館いっぱいという盛況でした。

午前中は、小学校四学級、中学校三学級の公開授業と分科会が行われ、各教室には床へすわり込んで熱心にメモを取っている先生や教室へ入りきれず入り口から首だけを入れて授業に見入る先生の姿が見られました。

午後からは全体会に移り、小松村長の祝辞、西野教育長のあいさつのおと、馬路小学校浜田校長から「馬路小学校における基本的生活習慣の定着をめざして」、魚梁瀬中学校松井章弘教諭から「小規模校の特性を生かした道徳授業について」、

魚梁瀬小中PTA会長伊吹衝章さんから「家庭と学校、地域の連携による生活習慣の定着化をめざして」と題しての研究発表がありま

した。

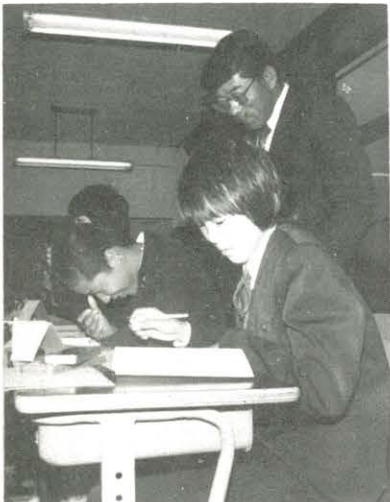
つづいて、文部省初等中等教育局小学校課教科調査官、瀬戸真先

先から「道徳教育における親の課題・教師の課題」という演題で、「道徳教育は、学校教育のみでは指導しきれないものであり、地域・家庭・親の力をかりることが最大の条件である。そのためには、家庭や地域を見直し、どんな教育

力があるのかをみんできがしてみるのが大切である。反抗期は子どもが自立しようとする現象の表れであるが、その時期にどういう特徴があり、どういった経験をさせればよいかを知り、親や教師は

どういった態度をとればよいか」など、乳幼児期から青年期までの親のあり方、家庭のあり方についての講演がありました。

そして、いまさらのように学校、家庭の連携の重要さを感じさせられた会でした。



全体会(上) 公開授業(下)



西野寿雄さん

民生児童委員総務、西野寿雄さん(71歳)は、永年にわたり福祉に深い理解をもち、厚生援護活動に努めるとともに多くの分野の要職を歴任し、明るい住みよい地域社会づくりと住民福祉の向上に貢献したとして、本年十一月一日の全国社会福祉大会において厚生大臣から表彰されました。

また、十一月七日、東京都港区笹川記念会館において、同様の理由で財団法人日本顕彰会会長、笹

厚生大臣  
日本顕彰会から表彰

西野寿雄さん

川良一氏から表彰されました。西野さんは、現在民生児童委員総務として村内の福祉活動のかたわら、安芸郡民生委員協議会会長、高知県民生委員協議会副会長の要職につかれており、昨年県勢功勞表彰を受賞、本年十一月二十日、商工会全国大会で中小企業庁長官表彰も受賞されています。

今後とも健康に留意され、ますます幅広い活躍をされますようご期待します。

久保明郎さんに

高知県体育指導委員

功勞賞

久保明郎さん(50歳)が、長年の体育指導委員としての功績が認められ、十一月十日、高知会館において、功勞者として表彰されました。

久保さんは、昭和三十九年から現在まで二十年間、馬路村体育指導委員として活動が続けられています。

特に、子ども会のソフトボールや体育会軟式野球部などの指導にあたられ、立派な成果をあげるとともに、馬路体育会副会長としても活躍され、各種体育行事の推進役として、本村のスポーツ振興につとめられてきました。

今後のますますのご活躍を期待します。



久保明郎さん



# くらしと人権

## 歴史をとおして考える

女性史研究家 しろさわ ようこ

社会の仕組みと女の生きる状況と結婚の形、これは三位一体です。

現在、差別語のことがいろいろいわれています。けれどもこと女性に関しては、差別語が差別語ではないみたいにならなりました。それです。その象徴的なものは「嫁をもらう」「嫁をとる」「嫁に行く」という言葉です。この「嫁とり婚」とよばれる結婚の形が歴史にあらわれ出てくるのは封建制社会からです。

今は封建制社会ではありません。政治の形においては民主主義社会、経済の構造においては資本主義社会ということになっています。しかし、「嫁とり」というのは封建制社会における結婚の形なのです。結婚の形と女の生きる状況を考えれば「嫁とり婚」「嫁入り婚」になったときが、女の最もつらい状況だと思います。女の暗黒時代ですね。

ところが、原始共同体時代には「嫁とり婚」でも「嫁入り婚」でもありませんでした。結婚の形は「妻訪問」または「通い婚」といって、男が女のところへ通って

行く「別居婚」でした。

今、女の人は、大学を卒業しても就職先がないと、「完全就職するからいいわ。」と言いますが、「完全就職」というのは、結婚生活の中で女が生活権を確立することをいいます。

原始共同体時代には「別居婚」ですから、夫と妻は経済生活をそれぞれ別にしていました。結婚のきずなは愛情だけであって、結婚しているから私を養ってくださいなどと女も男にいいませんし、男の人も、結婚しているからおれの飯のしたくをしろとか、洗濯をしろなどといって、女の人に自分の生活の世話などはさせませんでした。男も女も、それぞれが自分の生まれた集団で働いて、夜になると男の人が女の人の、つまり我が妻のところへ行き、そこで一緒に寝て、朝一番の鶏が鳴く前に自分の集団へ帰っていくのです。古代歌謡に「つまや建て」という言葉がありますが、そこは「妻訪問」にいく男たちの泊る場所だったので

人間の世界のなかで、人間が創

り出した矛盾は、人間が解決していくことができると思います。しかし、最後まで残るトラブルは、男と女の愛情関係だろうと思うのです。

現在は、愛情がなくても夫と別れたら食べていられないから仕方がない、子どもが育ちあがるまで我慢するとかで、愛がなくても経済のために一緒になっている女の人たちがたくさんいます。

ところが、愛だけが結婚生活のきずなであったときには、そういうことはありませんでした。自分が好きでも相手が好いてくれず、自分が嫌いでも相手が好いてくれたりの愛情のかけとらというものは、今は、いろいろな経済生活の制約と社会生活の制約を受けますが、原始共同体時代には、そうではなかったのです。

愛しているから結婚するのです。そして、それは決して放縱な、だれもかれもというのではなくて、結婚して男と女が一对になるのですから、それなりの集団の規約がありました。しかし、通ってきた男を嫌いになると女は男を家へ入れなくなったり、男も好きな女は遠い道をもともせずに通っていきませんが、嫌いになると通わなくなるということもあつたのです。すると、子どもは女が生みますから女のもので、親は母だけとなります。これは今だってそらだと

思いますが、親である確実な証拠は女しかわかりませんね。男の方は、「おれの女房は、おれに惚れているから女房の生んだ子どもは自分の子だ。」と、我が妻の愛情に対する絶対的な信頼のもとにしか、我が子の確認ができないのですから。

愛が開かれていた原始共同体時代には、親は母だけでしたが、男の人々は、姉や妹の生んだ子どもの面倒をみていたのです。こうした風俗のあつたのは、日本においては石器時代だと思います。

日本で邪馬台国なんていわれた時代には、中国ではさん然たる古代文化が、花開いていました。そこですでに、儒教思想も表わっていて、男女差別もありました。



そういう文化を持った人たちが、金属器を携えて、日本に渡来してきたのです。

それまで日本では、女たちは男の守り神であり、霊性高いとされてきました。しかし、渡来してきた人々によって、土着の人々が征服されたのではないかと思うのです。そのときにどういことが行われたかというところ、それまで男よりも霊性が高いとされていた女の人たちが戦利品として、その征服者の「物」とされました。所有物になっていったのです。

ここに私は、母権の没落と女たちの没落が始まるとみるのです。(以下、次号へつづく)  
高知県教育委員会発行  
「人権の道」より

### 身近な話題を広報へ

「広報うまじ」では、村内外読者の方々から広報の原稿を募集しています。あなたの身のまわりの話題、あるいは、俳句、詩、短歌、随筆等、お寄せください。また、教育委員会へご連絡いただければ、取材にも伺います。

投稿をされる方は、偶数月の二十日までに教育委員会へご提出ください。



# 林業 アサヒ

## 正しい選木と間伐

豚汁にナス

高知県林業試験場長

橋詰 寿男



「冬ちかし時雨の曇も  
こころぞ」

蕪村の句を思わず情景が北山連峰に出現し、そぞろ熱燭に鍋物の恋しい季節となった。

ところで、表題はいわゆるお料理についてではなく、本意は、択伐的思想で利用間伐に励んでみませんかというお話である。

林業界不況の今日、森林所有者の林業経営意欲がいちじるしく減退している状況にあって、営々と育成してきた本県三十万haあまりの人工民有林を、活力ある健全な良い山につくることは、私たちの義務であり、そのため欠くことのできない重要な作業は間伐である。間伐をどのようにするかは、森林経営の生産目標を決定することにもなるが、生産目標を設定するにしてもいくつものタイプがあり、未経験の森林所有者にとっては確かな自信がなく、その選択に迷っているのではないだろうか。

この森林経営タイプについて、九州大学の塚正紘氏がおおまかに面白い表現をされているので紹介させていただきます。

「みぞ汁型」＝一度作ると一遍に食べないとまずい。朝に作ったものを夕方や翌朝食食べても最初の味ではない。ちょうど、一般的な短伐期一斉皆伐林業みたいなものである。

「鯛の吸物型」＝北山の磨丸太林業で、高度な技術で作って、高級品を一度に皆伐するのが同じ一斉皆伐でも質が違ふ。

「豚汁型」＝今日よりも明日、明日よりも明後日と味がよくなる。何回でもおいしく食べることができる。それは、間伐収入をあげながら森林を良くしてゆくと全く同じである。このような森林を育成してゆくことが、経営安定の道ではないか。

「おでん型」＝択伐林業  
私は、「豚汁型」が好きであり、

腹に入れてゆきたい。次はナスである。

日本林学会が九月に高松市で開催され、メインのシンポジウムは、テーマが「なすびぎり林業をめぐる諸問題」であり、前局長の森本泰次さん、篤林家の石原猛志さん、林試の安藤貴さんの三氏の話題提供者を中心に活発に討議された。内容は共感多く、さわめて有意義なものであった。私なりに要点をまとめてみた。

(一) 「なすびぎり」とは優勢木間伐、上層間伐、利用間伐、成木摘伐などで表現され、収入をあげることである。

(二) 現行の間伐は、劣勢木を中心に伐り、優勢木を残す下層間伐が行われているが、赤字で材価向上がはかられていない。これは、林を外観で判断し、材質を考えない人が、生長量第一主義で優勢木保存の教育をしたからだ。

(三) 「大きなものはイイもんだ」

の感覚があり、これを打ち破らなければならぬ。二十五年生前後の林で樹高・肥大とも生長の良い木は、年輪巾広くヤクザの木（早生の木）で永年育てても材価が低く駄目で、早く伐ることだ。逆に今は細くひっそりと品の良い木は晩生の木であり、年輪巾狭く、ヤクザの木に比べ何倍もの価値があり、残して育成すべきである。

(四) 「なすびぎり」を繰り返して複層林長期施業に持ってゆくことだ。

以上のような点から、私は「豚汁にナスビ」と呼びかけ、今後の間伐にご一考を願う次第である。本県では、森組労務班が委託を受けて実行している森林整備事業などで、森林所有者の太い木を残すようにとの注文どおりやっているようだが、残すヤクザの木に今問題の「スギカミキリ」が好んで加害しており、私が見た間伐展示林は、じつに「スギカミキリ被害木保存林」となっている。いくら注文とはいえ、良いことのために、義を見てせざりは勇なきなりで、正しい選木を教育実践すべきではないだろうか。

晩秋の夜長、ナスビの入った豚汁をかこみ酒杯をあげて、大いに今後の林業経営について論議してみても……。

雑誌 「樹海より」

### 村内囲碁大会

優勝 A級…湯浅  
B級…酒井

第三回村囲碁大会が十一月二十七日、就改センターで開催されました。

今大会は、前回大会の反省をもとに、開始時刻を午後六時と早めた結果、ゆっくりとくつろいだ中に、斗志をややおさえて、慎重に石を置くことができ、熱戦が展開された。主な結果は次のとおりです。

- A級の部
    - 優勝…湯浅 雅文 (三級)
    - 二位…清岡万寿夫 (二段)
    - 三位…松本 秀継 (一級)
  - B級の部
    - 優勝…酒井 功 (四級)
    - 二位…河平 稔 (五級)
    - 三位…高木明彦 (五級)
- なお、次期大会は一月八日に魚梁瀬で行う予定です。





# 馬路村の歴史と伝説



(五)

金林寺薬師堂

馬路公民館長 山中 巖

## 金林寺薬師堂(五)

薬師堂(本堂)の仏像を年代順にならべると次のようになる。

- 一、阿弥陀如来、日光菩薩、月光菩薩——県文化財
- 二、薬師如来——県文化財
- 三、不動明王、毘沙門天——国の重要文化財
- 四、増長天、広目天——室町時代に造られた。

次に仏像についての疑問点について考えてみよう。

『南路志』(なんろし)には次のような記事がある。

「本尊阿弥陀、薬師堂、弘法作当寺林二有、堂床(どうじょう)十四間四方、厨子(ずし)高八尺、横五尺六寸、脇土(わきじ)不動毘沙門、厨子脇、広目、増長、大同二年一夜建立ト言」

この記事の本尊阿弥陀は間違いであり、薬師如来でなければならぬ。

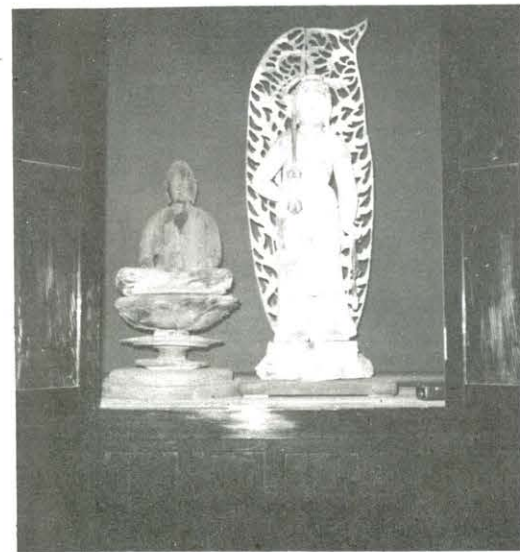
安政四年の『馬路村風土取縮指出控』(ふろごごちぢめさしだ

しひかえ)には「寺尊宇(てらうち)」、本尊阿弥陀如来作「知ラズ」とあって、金林寺「寺」の本尊として安置されていたことがわかる。『南路志』の作者は「寺」の本尊と「薬師堂」の本尊とを聞き違えたのでしよう。

また一説によると、この阿弥陀如来は、熊野神社の本地仏(ほんじぶつ)として祭られていたといわれます。

熊野神社宮司、大野盛氏によれば、昔、熊野神社には阿弥陀三尊が安置されていたというが、これはありえることです。しかし、現在、確定するにたる資料がみつかっていない。

次に、日光菩薩、月光菩薩については、なんの記録もない。しかし一説によると、北寺(安田町)の日光、月光菩薩、成願寺(北川村)の十一面観音と様式が非常に似ており、飛鳥彫刻的なイメージを持つことなどから、藤原時代中期(初期という説もある。)の作



↑金林寺薬師堂の不動明王(国の重要文化財)右と阿弥陀如来(県の有形文化財)左

といわれている。また、これらの仏像は、同じ仏師によって造られたものではないかと考えられる。

厨子脇に立つ二天像については『南路志』には、広目天、増長天が厨子脇と記され、また『馬路村風土取縮指出控』にも、広目天、増長天厨子の両脇に立つとあることかめ、間違いないと思われる。

今、二天の像を拝すると、寄木(よせぎ)造りで玉眼を入れ、新様式で造られているが、鎌倉時代に造られた不動明王、毘沙門天にくらべると、力強さがないように感じられる。これがまた、室町時代の仏像の特徴である。

さて、本堂の仏像の中で、重要文化財に指定されている不動明王、毘沙門天については、不動明王の光背(こうはい)に、次のような

墨書が残されている。

墨書銘

「奉造立不動尊願主別当僧相祐女紀氏建曆三年癸酉二月三日甲戌金林寺御堂奉造立仏師龍〇〇」

これら二つの立像は、一二一三(建曆三)年に、金林寺の僧、相祐(そうゆう)とその娘である紀氏(きし)が願主となって、仏師の龍〇〇に依頼して造らせたものである。將軍は源実朝の時代であり、中央の仏師たちが、寄木造り製法をはじめてから二〇〇年以上たっている。この時期において、なお古い手法の一本(いちぼく)造りによって、不動明王、毘沙門天は造られたのです。

私は、この両像を拝観して、そのすばらしさに心を打たれます。考えてみると、不動明王に対す

る信仰は、インドにおこり、中国で展開したのですが、その信仰と造像は、日本で盛んに行われたのです。空海が不動明王の信仰をはじめ、平安時代の貴族たちの間に、自分たちの守護神として信仰され、さらに修験(しゅげん)の本尊となっていきました。

毘沙門天は、インド古代神話のクベラのことであるといわれ、護法人の一つとなり、四天王あるいは、十二天のうちの北方守護にあたった。のちに七福神の一つもなったが、本来は、仏の守護にあたる守護神である。

県内には、不動明王、毘沙門天を本尊の脇土とする寺院は、非常に少ないが、大豊町の豊楽寺(ぶらくじ)、定福寺(じょうふくじ)や、足摺岬の金剛福寺(こんごうふくじ)には両像がみられる。

一説によると、馬路の金林寺をふくめて、熊野修験と関係があるといわれている。熊野信仰が、県の東部から西部へ伝わっていったものだろうか。そして、そのことは、仏教の伝播とも関係があると思われる。

このように、仏教が熊野や中央から早く伝わったのが、県の東部地区と考えると、金林寺や北寺などの存在する安田川流域は、文化の遅れた地方であると考えられてきたのは、誤りであるように思われる。



恒例の馬路村文化祭も第十二回を数え、主会場を三年ぶりに魚梁瀬へ移しての開催でした。  
『どだい作品をようあつめんがめったねや』『あそこの家には大けなツツジの盆栽があるにかあらん』『ぜんざいの食券が売れんちや』などと魚梁瀬地区の方々が心配しながらも当日は大盛況。

# 大盛況!

## 馬路村文化祭

(魚梁瀬)



「なんじゃこりゃあ?」

俳句、ちぎり絵、生花、洋裁などの公民館教室の作品はもとより、手芸、文化財、絵画も持ち込まれ、魚梁瀬杉木製品の展示もあって、林業を生活基盤にすえている地域の特色がよくあらわれていました。また、会場玄関入口近くでは、日本酒のきき酒会が行われて、日ごろの努力(?)の跡をうかがわせるような姿が散見されました。

その他にもいろいろ催し物が開かれましたが、作品の出品者ほもとより、会場設営、展示などにご協力いただいた方々に紙上をもって、お礼申し上げます。  
馬路村文化推進協議会

### 名品ぞろい

## 寒蘭展

本年度の馬路村寒蘭展は、十一月十一日に魚梁瀬小学校で開催され、村内愛好者から六十六鉢が出品されました。入賞された方々は、次のとおりです。

#### ○ 総合優勝

山下 進 (魚梁瀬)

(更紗・馬路村長賞)

#### ○ 赤花の部

一位―門田 誠 (魚梁瀬)

(馬路村議会議長賞)

#### ○ 二花の部

一位―岩城安夫 (影)

#### ○ 更紗花の部

一位―門田 勝 (魚梁瀬)

#### ○ 銘品の部

一位―式部佐由里 (東川)

二位―戸梶章雄 (魚梁瀬)

三位―戸梶章雄 (魚梁瀬)

#### ○ 青花の部

一位―門田 勝 (魚梁瀬)

(馬路村教育長賞)

#### ○ 銘品の部

一位―式部佐由里 (東川)

二位―戸梶章雄 (魚梁瀬)

三位―戸梶章雄 (魚梁瀬)

## 古式弓射式 復活



十一月十一日に魚梁瀬運動場で文化祭事業の一つとして、古式弓射式の発表が行われました。

◆ ◆ ◆ ◆ ◆

能登守平教経一族は、一一八五年三月、壇の浦をひそかに逃れ、魚梁瀬の中川屋敷、一の谷屋敷を経て、水没前の魚梁瀬に移り住み、平家の再興を図るため武術を練り、時節の来るのをまつた。

しかし、その機会はなく、以降時代の変せんにもなつて、武術は一つの祭りとして一月四日に催されるようになった。これが弓射式である。  
弓射式は、十人の射手が千八本の矢を射る行事であり、ながくすたれていたものを今回復活したものである。

## 親子三世代交流

## 文化財めぐり

### 〓 南国市へ 〓

青少年育成村民会議と村教委の共催で、十一月二十三日、「南国市文化財めぐり」が行われました。この行事は、世代間の交流を深め、文化財愛護の精神を培うのを目的として、昨年度から行っているものです。

当日は好天に恵まれ、五十人の老若男女(子供を含む)が、貸切バスで、まず高知空港から三十二番札所の禅寺峰寺(せんじぶじ)、二十九番札所である国分寺、紀貫之(きのつらゆき)の碑のある土佐国衙跡(とさこくがあと)、比江(ひえ)の廃寺跡、比江の蘭東(らんとう)を見学しました。そして、最後に西島園芸団地で菓物の試食をし、全員無事に帰村しました。  
なお、来年度は、「安芸市」を予定しています。



# 教育の窓



←中芸地区中学校陸上大会

中芸地区中学校陸上大会が、さる十月十九日に馬路村民運動場で開催され、十三種目に中芸地区七校約百五十人が参加しました。  
この結果、男女総合で田野中が優勝。馬路中は三位、魚梁瀬中六位となりました。  
また、十月二十三日には、村内小学校陸上交歓会が行われ、四年生以上の児童三十九人が、七種目に力を競いました。  
両大会の主な結果は次のとおり。

## ○ 中芸地区中学校陸上大会の主な成績(3位以内)

Jはジュニア  
Bはベスト  
Hはハードル  
Rはリレー

総 合	種 目 別															学 年 別										種 目										
	800R		400R		100	800m			三 段		走 り		高 跳		走 り		幅 跳		3	3	1.5	200m			100m											
	B	B	J	H	3 年 女	3 年 男	3 年 男	1 年 女	3 年 男	2 年 女	3 年 女	1 年 男	1 年 女	3 年 男	2 年 女	3 年 女	3 年 男	1 年 男	3 年 女	3 年 男	1 年 女	3 年 男	2 年 女	2 年 男	2 年 男		1 年 女	3 年 男	2 年 男	2 年 男	1 年 女	3 年 男	2 年 男	2 年 男	1 年 女	
馬路中学校	伊吹・乾正	芝久・田中	五味・西野	中岡・木下	伊吹・伊場	中岡・田中	乾美佐恵	田中靖久	乾正一	田中佳代子	林寛幸	西野千晶	上総りさ	丸山貴匠	中岡千晶	林寛幸	五味志乃	中岡則子	山中知佐乃	乾正一	丸山貴匠	中岡則子	伊吹幸憲	五味志乃	西山敦史	芝久義	伊場靖香	伊吹幸憲	西山敦史	芝久義	伊場靖香	伊場靖香	伊場靖香	伊場靖香		
馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	魚	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬
1 5 7 ・ 5	1 分 51 秒 4	1 分 2 秒 6	1 分 4 秒 8	21 秒 3	2 分 21 秒 6	2 分 19 秒 8	2 分 50 秒 8	10 m 94 cm	1 m 25 cm	1 m 25 cm	1 m 30 cm	1 m 25 cm	5 m 26 cm	4 m 2 cm	4 m 33 cm	1 6 9 1 点	10 分 46 秒 3	5 分 10 秒 8	31 秒 5	26 秒 7	33 秒 0	28 秒 1	28 秒 1	32 秒 0	12 秒 7	13 秒 4	13 秒 3	15 秒 3	15 秒 3	15 秒 3	15 秒 3	15 秒 3	15 秒 3			

## ○ 小学校村内陸上交歓会の主な成績 (1位のみ・◎は新記録)

400m リレー	走 り				高 跳				走 り				巾 跳				ソ フ ト バ ー ル 投 げ				1000m				100m				種 目				
女 子	男 子	6 年 女	6 年 男	5 年 女	5 年 男	4 年 女	4 年 男	6 年 女	6 年 男	5 年 女	5 年 男	4 年 女	4 年 男	6 年 女	6 年 男	5 年 女	5 年 男	4 年 女	4 年 男	6 年 女	6 年 男	5 年 女	5 年 男	4 年 女	4 年 男	6 年 女	6 年 男	5 年 女	5 年 男	4 年 女	4 年 男	性 学 別 年	
1 位	1 位	1 位	1 位	1 位	1 位	1 位	1 位	1 位	1 位	1 位	1 位	1 位	1 位	1 位	1 位	1 位	1 位	1 位	1 位	1 位	1 位	1 位	1 位	1 位	1 位	1 位	1 位	1 位	1 位	1 位	1 位	順 位	
馬路A	魚梁瀬A	伊吹香絵	笹岡和仁	中岡恭子	湯浅雅喜	西野百絵	家野本孝志	尾谷暁	樋口達也	中岡恭子	大野康二	乾沙織	小原健	新居朝香	酒井信弥	内原美穂	湯浅雅喜	西野百絵	小原健	尾谷暁	酒井信弥	内原美穂	湯浅雅喜	乾沙織	小原健	尾谷暁	樋口達也	中岡恭子	大野康二	乾沙織	小原健	氏 名	
馬	魚	魚	馬	馬	魚	馬	魚	馬	馬	馬	馬	魚	魚	魚	魚	魚	魚	馬	魚	馬	魚	魚	魚	魚	魚	魚	馬	馬	馬	馬	魚	魚	学 校
1 分 7 秒 5	1 分 8 秒 4	1 m 5 cm	1 m 10 cm	1 m	1 m	95 cm	1 m	3 m 40 cm	3 m 77 cm	3 m 37 cm	2 m 98 cm	2 m 87 cm	3 m 67 cm	25 m 86 cm	37 m 65 cm	25 m 84 cm	27 m 81 cm	13 m 45 cm	39 m 93 cm	4 分 11 秒	4 分 1 秒	4 分 7 秒	4 分 12 秒	4 分 30 秒	3 分 48 秒 ◎	16 秒 6	15 秒 9	16 秒 8	18 秒 5	17 秒 9	16 秒 4	記 録	





## 教育相談所だより ②1

### 登校拒否症

A君が心の安定をとりもどし、友だちのところへ遊びに行くようになる。安芸市へ書物やレコードを買いに行く。庭の掃除をする。家族と話し合いがふえてくる。話し合いの中で笑顔がみられる。このような時期を第二の段階と考えるならば、私たちは、A君に対してどのような援助をすべきでしょうか。

登校拒否のタイプによって、い



## みんなであつた ふれあいコンサート

ユーモアたっぷりの司会に始まり、たちまちコンサートに引き込まれる子どもたち。

これは、文化祭行事のひとつとして十一月十三日に就業改善センターで催された「青柳常夫と音楽文化集団ともしび」を迎えてのコンサートです。

開場を前に、ホールに集まった保育所や小学校の子どもたちは、胸をドキドキさせて、今か今かと待っています。青柳さんが現れての巧みな話術と楽しい歌に子どもたちはすっかり引き込まれ、「森のくまさん」「カチューシャ」などを合唱します。また、入れ替わったの舞台劇「スイカ泥棒」では、表情豊かな演技に身を乗りだした子供が先生に注意される一幕も。ピアノ独奏やギター演奏などもあつての楽しい二時間でした。

るいろいろな方法があると思いますが、一般的な例を考えてみましょう。基本的な考え方としては、A君に、「自主自律の生活」、つまり自分の生活は、自分で考えて行動する機会を、多く与えることだと思えます。

#### 家庭での援助

○学校のごときは、いっさい口に出さない。

○生活のリズムをとりもどすよう

## あなたの声を!!

### 臨時教育審議会からのお願い

臨時教育審議会では、昭和59年9月5日の第1回総会以来、わが国の教育の在り方について審議を進めていますが、審議に当たって広く国民の皆様のご意見、ご要望を十分お聞きしたいと考えております。

個人、団体を問わず、国民の皆様からの教育改革等に関するご意見などをお寄せくださるようお願いいたします。

お寄せいただいたご意見などは、今後の審議に活用させていただきます。

ご意見などは書面で下記までお送りください。

〒100 東京都千代田区

永田町1-6-1

臨時教育審議会事務局

(あて先)

#### 配慮する。

○家族や親戚の者が、いっしょに街へ買い物に行く。

○土曜日、日曜日には、気の合う友だちの家へ遊びに行かせる。

○簡単な家の仕事などを、少しづついっしょにする。

○テレビをいっしょに見て、話し合いのきっかけをつくる。

○学校側としての援助

○学校をすすめることは、いっさい言わない。

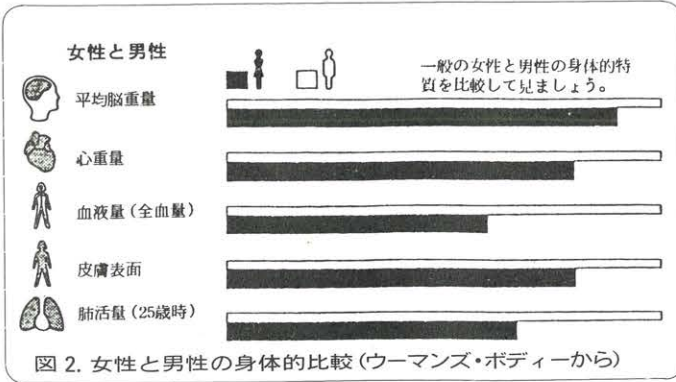
○宿題やテストなどを届けてやる。それも無理じいはずに、またできた場合は、評価して返してやる。

○世間話しをする。(町の話やニュース、本人の趣味など)

○本人の好みそうな図書などを持ってきてやる。

この時期にはA君にとっては、家族と交流を深めながら、閉ざされた心の扉をどのように開いていくかが、大きな課題と考えられるからです。

# スポーツ 愛好者の コーナー



## 運動中に息切れ がおこるのは？

冬季となり各地でマラソン大会などの催しが大変多くなりました。走ることは健康や体力づくりに非常に効果のよいことですが、大会ともなるとふだんの自己のペース配分を狂わせてしまい苦労してやっとゴールしたという経験をしたくない人がもっているのではないのでしょうか。

とくに、走り始めて数分後におこってくる「息切れ」や「胸苦しさ」といった長距離走独特の症状

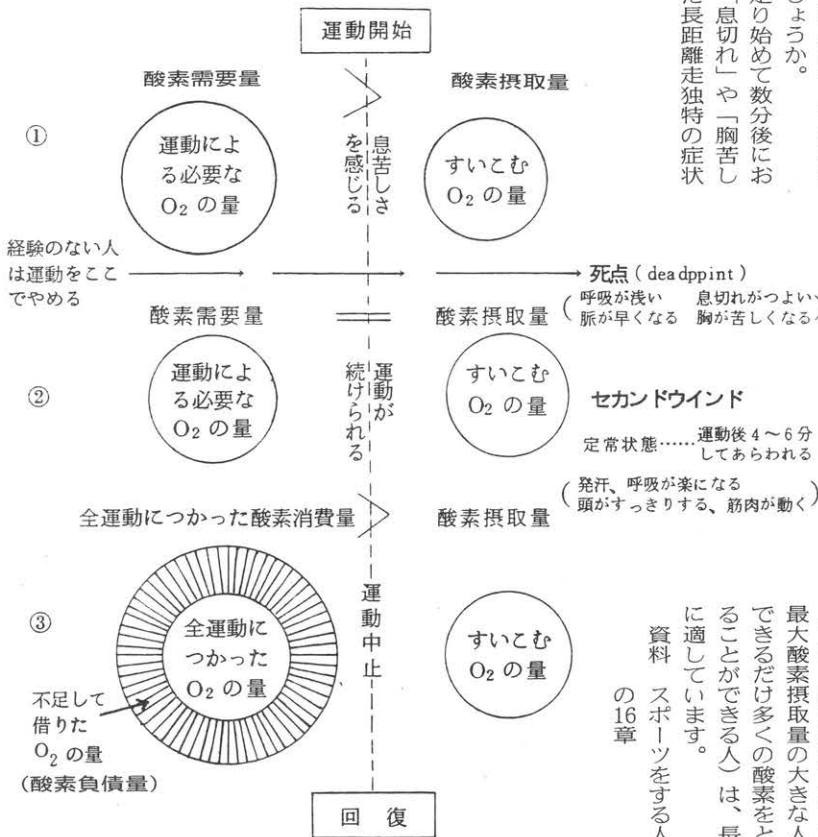


図 1. 運動における酸素需要量と酸素摂取量の関係

から、初心者は弱気になり足の動きが急速に衰えてきます。これは、心身の働きが、十分に走ることに順応できず、運動に必要な  $O_2$  (酸素) を吸収できていないからです。この状態を死点といいます。

しかし、この状態を克服すると、心身の働きが活発になり、ある一定の楽なペースで走ることができるようになります。この状態をセカンドウィンドといいます。

カンドウィンドといえます。新陳代謝がよくなり、一定のリズムで呼吸することができやすくなります。終盤になると、心身の疲労による機能低下により  $O_2$  の摂取量が弱くなり、負債量が増してきます。

負債量の大きな運動は、短距離走などにみられます。

最大酸素摂取量の大きな人(酸素を余計借り入れることができる人)は、短距離走に適しており、最大酸素摂取量の小さな人(体に入れることができるだけの酸素をとり入れることができる人)は、長距離走に適しています。

資料 スポーツをする人のための16章

## 第2回

### 馬路村内

### 長距離走記録会

十一月二十三日、第二回馬路村内長距離走記録会が、虹のマラソンコースで行われ、五十二人が参加し、健脚を競いました。

大会は、二キロ(小学三・四年生、五十歳以上)、三キロ(小学五・六年生、一般)、五キロ(中学生以上)の三種目で行われ、午前十時十五分から次々にスタート。周りの人々の温かい声援に励まされ全員が完走、お互いの健闘をたたえあっていました。

主な結果は次のとおりです。

〇二キロの部	
一位	小松孝裕 7分43秒
二位	林 義人 8分15秒
三位	笹岡卓洋 8分19秒
〇三キロの部	
一位	笹岡和仁 14分51秒
二位	中岡恭子 15分57秒
〇五キロの部	
一位	乾 正一 17分55秒
(大会新記録)	
二位	伊吹幸憲 19分1秒
三位	丸山貴匠 19分22秒



# いい汗かいて 村民運動会

昭和五十九年度村民運動会は、十月二十一日に、馬路地区、魚梁瀬地区で同時に行われました。

前日の雨の影響で、両地区ともグラウンドの状態が悪く、少し時間をおくらせての開会となりましたが、力強い若者の力走や、老人と子どものゲームなどに盛んな拍手や声援がおくられ、秋空の下で愉



↑往年のスプリンターたち、まだまだ速い！（馬路）



↑つれますか？ ポツポツです。（魚梁瀬）

快に健康な汗を流しました。結果は次のとおりです。

- 馬路地区村民運動会  
優勝—朝日出・日浦、二位—影、三位—相名、四位—東川・中ノ川
- 魚梁瀬地区村民運動会  
優勝—東川、二位—西川、三位—中川・学校、四位—丸山、五位—明善、六位—営林署貯木場

## 〇〇〇〇〇 村内体力 つくり大会

十月五日に村内体力つくり大会が、馬路村民運動場と馬路体育館で開催され、ゲートボールの部に十二チーム、スカッシュバレーボールの部に十チームが参加し、熱戦が展開されました。

主な結果は次のとおりです。

- ゲートボールの部  
Aゾーン  
一位—馬路体育会野球部A  
二位—シルバートーム  
三位—魚梁瀬体育会A  
Bゾーン  
一位—へたくそチーム  
二位—魚梁瀬体育会B  
三位—馬路体育会野球部B  
Cゾーン  
一位—なかよし  
二位—魚梁瀬体育会C  
三位—魚梁瀬老人クラブ
- スカッシュバレーの部  
Aゾーン  
一位—ピチピチ  
二位—魚梁瀬A  
三位—魚梁瀬B  
Bゾーン  
一位—一明  
二位—魚梁瀬C  
三位—一五〇歳



## ハッケイのこった 相撲大会

十一月二十日、熊野神社境内の村営相撲場で行われた相撲大会には、六チーム、十八人が参加、熱戦に盛んな拍手と声援が送られました。

主な結果は次のとおりです。

- 団体戦の部  
優勝—東川部落（別役清人・岩城敬志・長崎哲）  
二位—役場B（上治堂司・宮崎績夫・小松忍）  
三位—役場A（清岡明徳・五藤寿史・岩城勝則）



- 個人戦の部  
優勝—門田弘男（魚梁瀬）  
二位—別役清人  
三位—山本清貴（安田町）  
その他の各賞  
敢闘賞—小松 博（相名）  
殊勲賞—岩城敬志（東川）  
技能賞—上治堂司（影）

## 馬路体育会優勝 安芸市町村対抗 軟式野球大会

十一月十八日、安芸市で行われた第十四回安芸市町村対抗軟式野球大会で馬路体育会野球部がみごと優勝しました。

馬路は初戦で芸西村を六対〇、準決勝で安田を二対〇とくだし、決勝戦では田野を九対〇と大差でやぶり、優勝にかがやきました。

## バレーボール 安芸支部大会 優勝馬路男子

さる十一月二十五日に、中芸高校体育館で開催された、高知県バレーボール協会主催の安芸支部大会で馬路体育会男子バレーボール部が、接戦のすえみごと初優勝をかざりました。

今後、より一層練習にはげまれ来年の活躍をご期待いたします。



## 魚梁瀬婦人会

### と文化祭

魚梁瀬婦人会会長

湯浅 久美



↑大繁盛だったガラクタ市(文化祭で)

魚梁瀬婦人会では、十一月十一日に行われた第十二回馬路村文化祭において、作品の出品のほか食堂、ガラクタ市などを開きました。中でも大変だったのが、作品作りとお菓子の券売りでした。

今年作品は、主に手芸が中心で、編物、クロスステッチ、玉の

れん、小物などが出品されました。三年前に魚梁瀬において文化祭が行われた時には、即売品を中心に作りましたが、今回は、個人個人で作って出品することに決め、一

カ月前ごろから材料を仕入れ、昼は仕事、夜は手芸作りと頑張りました。

そのおかげでとても良い作品ができていたと思います。

お菓子の券売りは、魚梁瀬婦人会はもとより、馬路婦人会の方々にも大変お世話になり、おかげで予想以上の成績をあげることができました。

また、ガラクタ市には魚梁瀬の住民のご協力を得て、食器、衣服類、おもちゃ、本、レコードなど、中には一度も使用していない新しいものなど、たくさん寄付していただき、それを整理、修正を行い、とても安い価格でおおわけでき、みなさんに喜んでいただきました。食堂の方も、予定以上にたくさんの方々に利用

していただき、お昼過ぎには、五目寿し、うどんが売り切れてしまい、せつかくおいでくださいた方方にご迷惑をおかけして申しわけなく思っています。

## 高知県婦人大会

### に参加して

岩城 佳子

長い間、婦人会活動から遠ざかっていた私は、久しぶりに第二十九回高知県婦人大会に出席させていただきますました。

澄みきった初冬の陽ざしの中、会場の県民文化ホールは、県下各地から集まった会員の方で一杯になり朝から熱気が溢れていました。

大会は「二十一世紀に向かっての婦人の心構え」というテーマで、吾川ブロッコ会長の開会宣言に始まり、主催者の岸会長のあいさつがありました。

来賓の中内知事さんからは、はげしく揺れ動く国の内外の情勢の中で、住みよい社会を作ってゆく

ためには、私たち婦人団体の果す役割がいかに大きく大切なものであるか、という励ましのお祝辞をいただきました。

また、日本銀行高知支店長さんからは、専門の分野から、経済低成長時代に入り、年々高齢化してゆく社会にあつて、これからは周囲の人たちとの人間関係を前向きにきづいてゆく努力が必要であること、また、生きがいのある老後を保つためには、若い時から経済的な観念に立っての生活設計が大切であることなど、細やかなお話がありました。

一時間半ほどの時間が流れ、早朝からの疲れで少しウトウトと睡魔に襲われかけていた私は、その後の「笑と人生」と題した、三遊亭円楽師匠の講演ですっかり目がさめました。

京都の由緒あるお寺の、九人兄弟として生をうけた師匠は、戦前、戦中、戦後と、豊富な体験を通して、本当に自分はいき時代に生れ合わせたものだと感じていると言われました。

そして、今も師匠の心の中に大きく残っているのは、多勢の子どもに加え、数人の使用人を抱えながら、食糧難の時代に、不平の一つもこぼさずにくましく生き抜いた愛深い母親の生きざまなのだそうです。

また、日本の文化(言葉)は、

実に奥床しく、素晴らしいものであつて、朝、ご主人を送り出す時につかう「いっていらっしやい」の「いって」は、外へ仕事に送り出す意味で、「いらっしやい」は、元気で家へ帰って来て下さいという意味だそうです。

朝、ニッコリと笑って「いっていらっしやい」と、送り出してもらったらご主人は勇氣百倍。もりもりと仕事ができ、夕方になるとますますに家へ帰ってくるんですよ、例のお笑い口調ですっかり私たちを魅了してしまいました。これから、ますますコンピューター化し、物質文明をひた走ってゆく世の中にあつて、本当に必要とされるのは、やさしさ、明るさ、思いやりといった心の世界ではないかと、つくづく感心させられました。

最後に岸会長が、「今日のこの素晴らしい大会に出席させていただけなのは、家族の協力があつてこそのことですから、帰られたら家族の方に感謝の言葉をかけて下さい。」と結ばれました。

三時三十分、大会は終り、私たちはなにか心の洗濯をさせられたような気持ちでホールを出ました。帰路の途中で、早速スーパーに寄ってもらい、夕食の材料を求めさせて、今夜はなんの馳走をしてあげようかと、心はずませながら車を走らせたことでした。



# 村民のひろば

これへこい！  
酒も気合いも入ってます  
(馬路地区大会)



## 魚梁瀬地区 はし拳大会

魚梁瀬地区はし拳大会は、十月十三日に魚梁瀬公民館で行われ、女性六人を含む三十九人、十三チームが参加し、熱戦がくりひろげられました。  
結果は次のとおりです。

- 団体の部
  - 優勝——消防B
  - 二位——魚梁瀬木材
  - 三位——老人クラブ
- 個人の部
  - 優勝——門田豊重
  - 二位——小原 忍
  - 三位——前川政己

## 馬路地区 はし拳大会

馬路地区はし拳大会は、十一月十九日に就業改善センターで、団体二十五チーム、個人七十五人が参加して行われ、日頃の腕を競い合いました。  
主な結果は次のとおりです。

- 団体の部
  - 優勝——森林組合B
  - 二位——清水産業
  - 三位——よいどれ
- 個人の部
  - 優勝——加藤寿一
  - 二位——萩野健一
  - 三位——山中茂昌



→女性も大健闘。アレっ！ボク負けちゃった。  
(魚梁瀬地区大会)

## 馬路・魚梁瀬 俳句会

梨 花  
ほかし絵のごとく稲穂の刈り残る  
ほうき草野路やわらかに包む秋  
思い出もうす紫に葛の花  
善 心  
佛前をかりて終日ちちろ鳴く  
友と会う芙蓉の陰に腰をすえ  
どこ見ても柿の豊年牛が鳴く  
弥 生  
又一人遠くの芦を刈り始む  
萩に蝶とまるおらねばならぬかに  
コスモスや皆この道を好きという

千鶴子  
ちぎり絵や虫も寝ねしか疲れしか  
遠慮なくさんまの煙はいり来る  
コスモスの密林蝶か花びらか  
百 合 子  
コスモスの風に逆だつ古屋敷  
段段の稲架の列から声がする。  
裏窓の街灯あかり虫しぐれ

喜 美 栄  
穴まどい小さが溝を越えにけり  
明方はもうやみて居し秋の雨  
疲れ寝のふつと醒めれば昼の虫

麗 山 子  
更けてゆく銀河を一り仰ぎけり  
あるじ絶え祠は草におおわれた  
秋の暮コートに青き椅子一つ

落 人 と 流 人 の 血 筋 盧 刈 女  
秋桜伏して紅白うぶ着干す  
月の出の秘佛の鍵に掌をかける

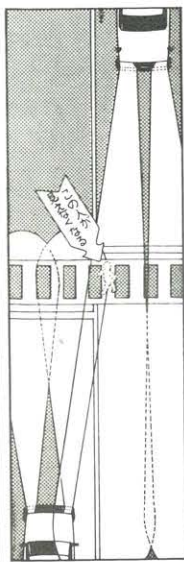
## いよいよ福をお祈りします

父	坂本忠幸	母	美和子	赤ちゃん	続柄	月・日	部 落
	山下義勝		恵子	大助	長男	10・3	魚梁瀬
	上治堂司		香野	あい	長女	10・18	魚梁瀬
	乾 恭介		栄美	竜太	長男	11・2	相 名

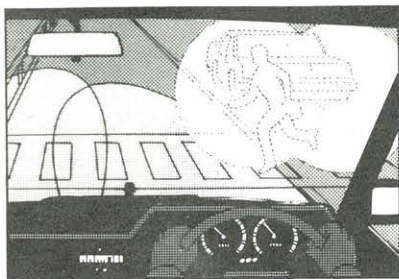
氏 名	清岡孝之	性別	男	行年	45	亡月日	10・24	世帯主	続柄	部 落
	丸山裕朗		男		43		10・26	佳 勉	二男	影 影
	浜渦安吉		男		55		11・11	本 人	本人	影 影



# 家族で話し合おう 交通安全



車のヘッドライトは、夜道を明るくし、安全を確保する大切な装置です。しかし、時としてドライバーの目を幻惑させる“危険な装置”に変わることもあります。そのひとつに“蒸発現象”といわれるものがあります。この現象は、夜間の走行時、自分のヘッドライ



## ヘッドライトの“幻惑”

トに照らし出されていた横断中の歩行者が突然見えなくなるというものです。原因は対向車のヘッドライトが上向きになっているとき、その光がこちらのドライバーの目に入り、一瞬目が見えなくなるために起こります。これでは、歩行者の動きが見えなくなり、大変危険です。

このような幻惑を防ぐためには、市街地など街灯のある所を走るとき、それぞれのドライバーがヘッドライトを下向きにすることが大切です。また暗い道でヘッドライトを上向きにしても、対向車が見えたら必ず下向きにしてください。

安全を確保するための装置を“ドライバーの目を幻惑させる装置”にしないために、最低限のマナーを守ってください。

- 昭和五十九年度に交通安全協会馬路支部の表彰を受けた優良ドライバーは次の方々です。
- 優良運転者表彰
    - 西野真司 (48歳) 日浦
    - 三宅哲男 (59歳) 影
    - 久保明郎 (50歳) 影
    - 雨木昭郎 (56歳) 影
    - 中川万士 (44歳) 影
    - 自動二輪の部
      - 木下 敏 (62歳) 東川
  - 交通功労者表彰
    - 井上誠男 (63歳) 日浦

## 安全運転を心がけよう!



## みんなで行こう!

いよいよ本格的な長距離走の季節がやってきました。馬路村では、次のような長距離走の大会を計画しています。みなさん、今からの体力づくりをお忘れなく!

- 村内駅伝競争大会
  - 1月26日(土)
- 村内年齢別ピットリタイム駅伝大会 3月9日(土)

## 家庭菜園コンクール審査基準

ほ場の適正	栽培の適正	工	夫	状	況	品	目	数	審	査	基	準
家の適正	小施設な どの活用	追いまきが できている	新しい野菜の とり入れ状況	肥料・間引き 雑草など	生育・病虫害 状態	豆 いも 類	緑黄色野菜 類	全品目数 6種類以上 あれば5点	審	査	基	準
家またはハウスの距離 作物に適したほ場か	マルチ・トンネル による収穫しやすい ような栽培の工夫 (炭俵によるこぼれ栽培など) があるか	3種類以上追いまきが できているなら4点 その他計画的な作付の 工夫があれば5点	種子セットの野菜 (ピーマン・人参・ タアサイ・紅菜苔) など新しい野菜も 積極的に栽培し関心を もつて取り組んでいる か感じを採点	それぞれの項目ごとに 3点を最高点として採点		3種類以上あれば3点		全品目が15種類以上 あれば5点				
家族数に応じた面積か												



十月十八日、農協婦人部による初めての家庭菜園コンクールが行われました。

これは、野菜の自給と利用について関心を高め、新鮮で安全な食品の供給によって、健康の維持増進をはかるとともに、地域の特性を生かした食生活の推進をはかろうとするものです。

当日は小雨の中、婦人部員二十二人の畑を、役場、農協、農業改良普及所の関係者が巡回し、品目数、生育状況、病虫害、間引きの状況、栽培上の工夫などの点から採点しました。

どの畑もなかなかよい出来で、

当日は小雨の中、婦人部員二十二人の畑を、役場、農協、農業改良普及所の関係者が巡回し、品目数、生育状況、病虫害、間引きの状況、栽培上の工夫などの点から採点しました。

入賞者は次のとおりです。

- 一位—清岡 勝 42点
- 二位—尾谷喜美恵 38・8点
- 三位—乾 一枝 38・2点

また、巡回した畑については、大根や白菜などの野菜が多く、イモ類やマメ類などが少なかったように思われます。こういった日本人の食生活に古くからかかわってきたものも忘れないでとり入れるようにしましょう。

特に草がないのには感心しましたが、栽培の工夫の点ではいまひとつといったところでした。たとえば、菜類は一袋の種を一時に蒔かず、少しづつ時期をずらして蒔くとか、暑さや寒さに強い中国野菜などをとり入れるとか、マルチやトンネルの活用で収穫時期をできるだけ長く保つとかすればなおよいと思います。